

「石垣島紀行 (3)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

【1日目/5月22日(つづき)】

羽田空港発の定期国内航空路で最長路線である「羽田～石垣線」は、到着まで3時間も要します。特にジェット気流に逆らう形で運行する石垣行のほうが時間がかかります。これはヨーロッパへ往復する時も同じです。



私の座席は翼の上で、景色はあまりよく見えませんでした。しかし、飛行中の「翼の変化」が面白いと思いました。空港での駐機中は、翼の先端は下に下りています。しかし航行中は翼の先端が相当にせり上がるのです。航空機の翼というのは、強靱かつしなやかに設計されていることがわかります。



やがて、目的地の石垣島が見えてきました。石垣島の最北端の岬でしょう。島は思ったよりも天気が良さそうで、期待していた・・・のですが。



空港は雨でした。南北に細長い形の石垣島では、島の北部と南部で全く天気がちがうことはよくあるのだそうです。この日も島の北部はよく晴れていました。



もともと市街地の近くにあった空港が、2013年に郊外に新設され、「新石垣空港」となりました。「南ぬ島 石垣空港」(ばいぬしま いしがきくこう)という愛称がつけられています。



さすが、東京・大阪・那覇からの直行便と、離島便の乗り換え空港だけあって、非常に広く、設備やショップも充実しています。八重山諸島のおみやげは何でも揃いそうです。